



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

やっとマスク外しました ^0^ (パンデミック怖いけど…)

皆さんこんにちは、さつまホームの瀧川です。6月に入り、ようやく「春限定花粉症バージョン」終了！…って、今月からご購読の方には訳がわかりませんね。ぜひバックナンバーをどうぞ！

今月は、「エコ・アクション・ポイント」制度のお話です。「えっ、『エコポイント』じゃないの？何で『アクション』？」と思われた方、鋭いですね。実は両方ともあるんです。名前の似た制度の登場でちょっと迷惑気味なこのエコ・アクション・ポイント制度、うまく使えばエコと節約を両立できるかも。



「エコポイント」と「エコ・アクション・ポイント」 ~混同しないように要注意です~

★エコポイントは経済対策

政府は5/15より追加経済政策のひとつ「エコポイント制度(エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業)」を実施しました。来年3月までに省エネ家電(エアコン、冷蔵庫、なぜか地デジ対応テレビ)を買ったら家電量販店みたいな「ポイント」がもらえるというもの。でも、その使い方などの詳細は未定(6月中旬に発表されるらしいです)。この制度、審議不足・説明不足のまま「見切り発車」してしまった感があり、注意が必要です。大きなテレビほど沢山のポイントがもらえるのも「何か変だぞ」と思いま

せんか？エコ度よりも商品価格連動なので。名前負けしてません？

★エコ・アクション・ポイントはエコ行動へのご褒美

この「エコポイント」登場のおかげで混同されて「迷惑」気味なのが、環境庁の「エコ・アクション・ポイント」。環境庁の説明によると、「消費者による温暖化対策型の商品・サービスの購入や省エネ行動を経済的インセンティブを付与することにより誘導する仕組み」です。大きく違うのは、家電品以外の商品・サービスの購入も対象にしていること、その原資を参加企業・団体が出していることです。「エコポイント制度」の財源は税金です！

つ、環境共生住宅に通じる部分でもありますので、ここでは住宅に付与されるエコ・アクション・ポイントについてみてみます。

対象となる設備・部材は、

1. 太陽光発電システム
2. 太陽熱利用システム
3. 小型風力システム
4. 潜熱回収型給湯器(給湯効率90%以上、給湯能力60号以下)
5. コージェネレーション・システム(総合効率60%以上、貯湯容量120リットル以上)
6. CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(COP4.0以上)
7. 複層ガラス
8. 断熱材リフォーム(最新の断熱基準を満たすリフォーム)
9. 庭への植樹(中・高木)
10. 住宅・庭園設備であって、原資提供企業が1~9とおおむね同等以上の温室効果ガス排出削減効果を証明したもの

★住宅にもエコ・アクション・ポイントが

制度の対象となる商品・サービスとしては家電や自動車など19種が定められていますが、私たちの生活の基地である「住宅」とその設備も入っています。『地球暮らし』のテーマのひとつ

となっていて、項目数からも住宅部門に対する期待が大きいことが見て取れます。この中で、設備機器と違って目立たないけれど見逃せないのが、「断熱材」と「複層ガラス(ペアガラス)」。住宅の冷暖房効率を大きく左右するこれらの部位は、他の設備機器以上に外せない、エコ住宅の「マストアイテム」と言えるでしょう。



エコアクションポイント制度のしくみ(環境庁HPより)

トピック

- 「エコ・コンビニ」開設 全国初の試み
京都市。客の「マイボトル」や「マイバッグ」を活用した環境重視のコンビニを市役所内に試験的に開設する、と発表。コンビニがマイボトルを使って飲み物を提供するの全国初という。名称は「エコ・コンビニみやこスタイル」。缶やペットボトルも置かず、弁当にも割り箸やレジ袋をつけない。
- 大阪の空気、全域で環境基準達成
大阪府は昨年度に実施した大気汚染状況の測定で、府内全ての測定局で二酸化窒素と浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準を達成したと発表。2種について全測定局での達成は1973年の基準設定以来初。トラックやバスへの規制が功奏。

情報リンク

- 環境庁エコ・アクション・ポイントのサイト
<http://www.eco-action-point.go.jp/>
- グリーン家電普及促進事業のサイト
http://www.env.go.jp/policy/ep_kaden/
- びお「特集・エコポイントって何だ？」
<http://www.bionet.jp/2009/05/ecopoint/>

お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。引き続き『地球暮らし』全バックナンバープレゼント実施中です。右記のEメールかFAXまでお申込み下さい。

編集後記 手放しでは喜ばない…

ですがこの「エコ・アクション・ポイント」制度、「あなたたちの自主的な削減努力にはもう期待できませんよ」と言われたような気がして、私はちょっと悲しいです。でも確かに民間部門のCO2排出量は削減どころか激増してるし…。こうなりゃご褒美目指してもっとがんばろ！^^;

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com
FAX :06-6855-7700
郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11
株式会社さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます